**伊万里市立二里小学校（令和元年度・２年度 佐賀県体育研究実践校）**

**１　授業の基本的な構想（全学年）**

**①　授業のねらい**

・体ほぐしの運動（遊び）では、自己の心と体との関係に気付くことと、仲間と交流することをねらいとし、誰もが楽しめる手軽な運動（遊び）を通して運動好きになることを目指している。

・低・中学年の「多様な動きをつくる運動（遊び）」では、体の様々な動きを取り上げ、その行い方を知るとともに、運動（遊び）の楽しさを味わいながら体の基本的な動きを身に付けることをねらいとする。

・高学年では、低・中学年の「多様な動きをつくる運動（遊び）」で育まれた体の基本的な動きを基に、各種の動きをさらに高めることにより体力の向上を目指す。

・高学年の「体の動きを高める運動」では、体の動きを高めるための運動の行い方を理解しながら運動に取り組むとともに、学んだことを授業以外でも継続・実践できるようになることを目指している。

**②　授業づくりの考え方**

・体ほぐしの運動（遊び）では、発達の段階に応じて、運動（遊び）を通して自己や仲間の心と体に向き合って運動（遊び）に取り組み、心と体が関係し合っていることに気付かせるとともに、仲間と関わる楽しさを体験し、仲間のよさを認め合うことができるようにする。

・低・中学年の多様な動きをつくる運動（遊び）では、体の基本的な動きを総合的に身に付けるために、動きをじっくりと経験したり、工夫したりするための十分な時間を確保するとともに、１時間単位の授業の中で、複数の運動を取り上げるなど、子どもたちの興味・関心の持続や心身の発達の段階を配慮することが求められる。

・単元を構成する際には、子どもたちの運動経験や動きの習得の実態などを踏まえることが必要である。初めて経験する動きの場合は、動きのこつをつかむことが困難なため、教師が一つ一つの動きを提示し、「動きを確認する時間」を設定する。

・子どもたちの興味・関心に応じて、「動きを選び、工夫しながら運動する時間」を設定する。その際、単調な動きを反復している児童がいれば、どのような意図があるか問いかけ、児童自らの学習を調整する意志的な側面に配慮する。

・質の高い動きを初めから追求するのではなく、幅広く易しい動きをたくさん経験させ、児童が楽しく運動しながら結果的に体力の向上を図ることが大切である。

・高学年の体の動きを高める運動では、児童が自己に適した課題をもって積極的に運動に取り組むことができるよう内容や進め方を理解するとともに、各自の課題に応じた運動を行ったり、児童が相互に話し合ったりしながら体の動きを高めるための運動の行い方を身に付け、授業以外でも取り組むことができるようにする。

・教師は、運動のねらいや指導内容を明確にし、運動（遊び）の行い方を意図的に行うことが大切である。

**２　単元計画の意図**

○２年間を見通した単元計画・・・低・中・高学年の２学年ごとで活動内容は同じとする。

**【低学年】**

・児童の運動欲求を十分充足させるよう単元を構成する。特に用具操作では、楽しさを味わい、用具に慣れるためにできるだけ時間を確保する。

・単元を進める中で、その用具を操作する上で欠かせない動きのポイントを押さえつつ、動きに変化（姿勢、人数、方向などを変える）をつけている児童を取り上げていく。

・第１学年では、主として動きを経験し、動きの種類を増やすことをねらい、第２学年では、経験した動きに変化をつけて広げていくことをねらって行う。動きの幅に視点をあてた指導が求められる。

**【中学年】**

・基本的な動きを組み合わせることを主として行う。

・第３学年では、低学年で行った運動遊びをもう一度楽しみながらスタートし、動きに変化を付けていたり、主として移動の仕方が組み合わさったりしている動きを取り上げ、できる動きを増やしていく。

・第４学年では、できる動きがよりなめらかになるようにしていく。

・組み合わせの動きでは、あまり難しい動きを取り上げず、誰もができそうな動きから取り上げる。動きの質に視点をおいた指導が求められる。

（例：短なわで跳びながら、歩いたり走ったりする動きなど）

**【高学年】**

・多様な動きをつくる運動（遊び）で経験してきたこと（多様な動きの工夫の視点）を生かして行う。

・第５学年では、運動を通して自己の心と体の状態や体力について知る。

・その運動がもつ効果や、取り組み方を考えて運動する。

・第６学年では、自己の体力に応じて一つの運動から一つの動きを個人で選べるようにする。そして、体の動きを高める学習の学び方を理解して、中学校へとつなげられるようにする。

**１　授業の基本的な構想（低学年）**

**①　授業のねらい**

・体ほぐしの運動遊びでは、その行い方を知るとともに、手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができるようにする。

・多様な動きをつくる運動遊びでは、その行い方を知るとともに、体のバランスをとったり、体を移動したり、用具を操作したり、力試しをしたりすることを通して、様々な基本的な体の動きを総合的に身に付けることができるようにする。

**②　授業づくりの考え方**

・体ほぐしの運動では、技能の向上を目指すのではなく、手軽な運動に楽しく取り組み、運動したときの気持ちや心地よさに気付くことができるようにする。「体を動かすと気持ちがよいこと」「力いっぱい動くと汗が出たり心臓の鼓動が激しくなったりすること」「友達と一緒に体を動かすと楽しさが増すこと」などに気付くことができるようにする。

・多様な動きをつくる運動遊びでは、児童にとっては意図的に動きを身に付けることを目指すのではなく、夢中になって運動することを楽しむうちに、結果として動きを身に付けているようにする。低学年では特に、動きのレパートリーを増やすこと（動きを広げること）を大切にする。

**２　単元の目標（低学年）**

（１）次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりするようにする。（知識及び運動）

・体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。

・多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすること。

（２）体ほぐしをしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

（３）運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

|  |
| --- |
| **３　単元の評価規準（低学年）　　　　　　　　　　　　　　　( )は第２学年** |
| 　 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ・体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知っている。 | ・運動遊びの動きを身に付けている。 | ・体を動かすと気持ちがよいことに気付いている。・楽しくできる体ほぐしの運動の行い方を選んでいる。(工夫している。）・楽しくできる多様な動きをつくる運動遊びの動き方を選んでいる。（工夫している。）・友達の良い動きを見付けている。（・工夫した楽しい遊び方を友達に伝えている。） | ・体つくりの運動遊びに進んで取り組もうとしている。・順番やきまりを守ったり、誰とでも仲よく運動をしたりしようとしている。・用具の準備や片付けをしようとしている。・場や用具の使い方などの安全に気を付けている。（・友達と協力して用具の準備や後片付けをしようとしている。） |
| 学習活動に即した評価規準 | ①体ほぐしの運動遊びの行い方を知っている。②多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知っている。 | ③姿勢・方向・人数を変えて体のバランスをとる動きができる。④姿勢・方向・速さ・リズムを変えて体を移動する動きができる。⑤用具を操作し、用具に合わせた動きができる。⑥力の入れ方を変えて力試しの動きができる。 | ①体を動かすと、気持ちがよいことや汗が出ること、心臓の鼓動が激しくなることなどに気付いている。②楽しくできる体ほぐしの運動を選んだり、楽しくできるように用具や場を選んだりしている。（③多様な動きをつくる運動遊びで、楽しくできるように動きを選んだり、工夫したりしている。）（④友達のよい動きを見付けたことや、楽しいと感じた運動遊びの行い方を、友達に伝えている。） | ①いろいろな体つくりの運動に進んで楽しく取り組もうとしている。②順番を守ったり、運動を行う上でのきまりを守ったり友達と仲よく運動したりしようとしている。③自分が使った用具の準備や後片付けをしようとしている。④運動する場を横切ったり、周りとぶつからないように間をあけたり、使った用具を片付けたりするなど、安全のきまりを守っている。（⑤友達と協力して用具の準備や片付けをしようとしている。） |

**１　授業の基本的な構想（中学年）**

**①　授業のねらい**

・体ほぐしの運動では、その行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができるようにする。

・多様な動きをつくる運動では、その行い方を知るとともに、体のバランスをとったり、体を移動したり、用具を操作したり、力試しをしたりするとともに、それらを組み合わせる運動をすることができるようにする。

**②　授業づくりの考え方**

・体ほぐしの運動では、ペアやグループ等の学習形態を工夫し、動きの楽しみ方を広げたり、仲間と豊かに交流したりできるようにする。動いて感じたことや気付いたことを振り返る活動を取り入れ、心や体の変化に気付いたり、実感したりすることができるようにする。

・多様な動きをつくる運動遊びでは、よい動きを見合ったり、教え合ったりする活動を取り入れ、動きを工夫しながら、楽しく活発に運動する中で基本的な動きを身に付けることができるようにする。また、基本的な動きを組み合わせる運動を取り入れることでやや難しい動きにも取り組んだり、低学年より基本的な動きがスムースにできるようにしたりするなど、動きの洗練化も目指すようにする。

**２　単元の目標（中学年）**

（１）次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりするようにする。（知識及び運動）

・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。

・多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせること。

（２）自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

（３）運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

**３　単元の評価規準（中学年）　　　　　　　　　　　　　　　　（　　）は第４学年**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ・体ほぐしの運動や多様な動きをつくる行い方を知っている。 | ・体のバランスや移動、用具の操作、力試しの動きとともに、それらを組み合わせた動きを身に付けている。（・これまで学習した動きが安定してできる。） | ・体ほぐしの運動を、人数を選んで運動したり、用具を使って運動したりするなど、運動の行い方を選んでいる。・多様な動きをつくる運動を、友達の良い動きを見つけ自分の運動に取り入れたり、動きの組み合わせ方を選んだりしている。（・運動の組み合わせ方を考え工夫している。）・友達のよい動きを見付けたり、工夫した楽しい遊び方などを友達に伝えたりしている。 | ・体つくりの運動に進んで取り組もうとしている。・用具の使い方や運動の行い方のきまりを守ろうとしている。・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。・場や用具の使い方などの安全を確かめている。（・友達と励まし合って運動しようとしている。） |
| 学習活動に即した評価規準 | ①体ほぐしの運動の行い方を知っている。②多様な動きをつくる運動の行い方を知っている。 | ③姿勢や方向、人数を変えて体のバランスをとる動きが安定してできる。④姿勢や方向、速さ、リズムなどを変えて、体を移動する動きがなめらかにできる。⑤用具を操作し、用具に合わせた動きが調子よくできる。⑥腕の引き方や押し方、重心のかけ方などを変えて力試しの動きができる。（⑦組み合わせた動きが安定してできる。） | ①体ほぐし運動の行い方によって、心が弾んだり気持ちが変わったりすることに気付いている。（②体ほぐしの運動で、楽しく運動できる行い方を選んでいる。）③多様な動きをつくる運動の動き方のポイントや動きのこつを見付けている。④多様な動きをつくる運動の、友達のよい動き方を見付け、自分の動きに取り入れている。⑤多様な動きをつくる運動の基本的な動きの組み合わせを選んでいる。（⑥多様な動きをつくる運動の基本的な動きの組み合わせ方を見付けている。）⑦運動の仕方、動きのこつ、友達のよさなど考えたことを、友達に伝えている。 | ①体つくり運動に進んで取り組もうとしている。②用具の使い方や運動の行い方のきまりを守ろうとしている。③友達と協力して、用具の準備や後片付けをしようとしている。④運動する場や用具の使い方などの安全を確かめている。（⑤友達と励まし合って運動しようとしている。） |

**１　授業の基本的な構想（高学年）**

**①　授業のねらい**

・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行うことを通して、自己や仲間との心と体の関係や状態に気付いたり、体の調子を整えたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができるようにする。

・体の動きを高める運動では、低学年・中学年での多様な動きをつくる運動（遊び）を踏まえ、体の動きを高める運動の行い方を理解し、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めて、中学校での体つくり運動の学習につなげていくようにする。

**②　授業づくりの考え方**

・体ほぐしの運動では、ねらいに応じた運動を選んだり心や体の変化に気付いたりできるよう工夫する。さらに、児童が運動の行い方を工夫できるように、運動例の学習資料などを提示する。

・体の動きを高める運動では、体力の必要性や体の動きを高める運動の行い方を理解し、自己の体力に合っためあてをもちながら学習が進められるようにする。また、自己の課題をもち、楽しく運動を行いながら体の動きを高めるとともに、学んだことを生かして授業以外でも取り組むことができるようにする。

**２　単元の目標（高学年）**

（１）次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができるようにする。（知識及び運動）

・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりすること。

・体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすること。

（２）自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

（３）運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気配ったりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

**３　単元の評価規準（高学年）　　　　　　　　　　　　　　　　（　　）は第６学年**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ・体ほぐしの運動や体力を高める運動のねらいや行い方を知っている。・自分の課題を見つけ、ねらいに合った運動の行い方を知っている。 | ・体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動、力強い動き及び動きを持続する能力を高めるための運動をしている。 | ・体ほぐしの運動のねらいに応じた運動の行い方を選んでいる。（・ねらいに応じた運動を工夫している。）・体力を高める運動のねらいに応じ、自分の体力に合った運動の行い方を選んでいる。（・自分の体力に合うように運動の行い方を工夫している。）・体をほぐしたり、体の動きを高めたりするために自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。 | ・体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自分の体力を高めたりすることができるよう、体つくり運動に進んで取り組もうとしている。・約束を守り仲間と助け合って運動しようとしている。・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。・運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりしている。 |
| 学習活動に即した評価規準 | ①体ほぐしの運動の行い方を知っている。②体の動きを高める運動の行い方を知っている。③自分の体力についての課題を知っている。④どのような運動を行うと体力が高まるのかがわかっている。 | ⑤易しい基本的な動き（基になる動き）に取り組み、運動の仕方や工夫の仕方に基づいて正しく運動することができる。⑥体力を高めるために、自己の課題に合った運動を行うことができる。⑦動きのポイントを生かして工夫した運動の仕方に基づいて行うことができる。 | ①運動すると心が軽くなることや、体の力を抜くとリラックスできることなど、心と体は関係し合っていることに気付いている。②体ほぐしの運動の３つのねらいに合った運動を選んでいる。（③体ほぐし運動のねらいに合わせて、人数や用具、方法などを変えている。）④自分のねらい合った運動を選んでいる。（⑤自分の課題を達成するために、動きのポイントを運動に生かして、運動の行い方を変えている。）⑥心や体の変化に気付いたり、みんなで行って楽しいと感じた運動や、体の動きを高めるためにグループで工夫した運動の行い方を学習カードに書いたり、例示したりして他者に伝えている。 | ①体つくり運動に進んで取り組もうとしている。②用具の使い方や運動の行い方のきまりを守って運動しようとしている。③友達と協力して、用具の準備や後片付けをしようとしている。④運動する場や用具の安全に気を配っている。⑤友達に言葉をかけたり、運動の補助をしたりして、協力して運動しようとしている。（⑥友達に声かけをしながら運動する場の安全に気を付けている。） |